



湿気が高まる時期にしっかり予防。  
初期防除は、これに限るね。

福島県伊達市 橋 一郎さん(65歳)



夏秋きゅうり出荷量国内一の福島県。600名を超える部会員のリーダーとして活躍する、JA伊達みらい きゅうり生産部会の橋一郎部会長のハウスをおたずねしました。

「きゅうりはデリケートだよ。女性とおんなじ。常に樹のご機嫌を伺いながら接しないとヘソ曲げて、実が曲がっちゃう(笑)」。  
肥料はすべて有機質で、作付前に堆肥と土壌改良剤を施肥するほか、生育期間中は樹勢に合わせて米ぬかや油カスを追肥するなど、土づくりには余念がありません。雨よけ栽培の収穫は5月上旬から8月中旬まで、抑制栽培は8月上旬から11月下旬まで。  
「湿気が高まる雨の多い時期は、褐斑病や炭疽病が発生しやすくなるから、初期の予防防除が一番大事」と橘部会長は言います。

以前から使っていた、アミスター20フロアブルの効果の高さを実感していた橘部会長は、6年前にアミスターオプティフロアブル(以下、アミスターオプティ)を導入。雨よけ栽培では5月下旬に1回、抑制栽培では9月中旬に1回、静電噴口付きの自走式防除機で散布していらっしゃいます。

「湿度がピークに達しないうちに、効果のある剤で病気を予防しておくことが重要。最初にきちんと抑えておかないと、あとで何を散布しても病気が止まらなくなっちゃう。だから、初期の予防はアミスターオプティに限るんだ」。

褐斑病や炭疽病のほか、べと病、うどんこ病など、幅広い病害を抑えてくれる安心感も、アミスターオプティを使い続ける理由なのだとか。

今後は、関東の量販店などで試食販売を積極的に展開したい、と橘部会長。

「福島のきゅうりの良さをもっと知ってもらいたいからね」という情熱を肌で感じる取材でした。

 **アミスター オプティ**<sup>®</sup>  
フロアブル

syngenta<sup>®</sup>

シンジェンタ ジャパン株式会社

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワー-X 21階  
<http://www.syngenta.co.jp>

農業をご使用の際は、ご購入先、または当社ウェブサイトなどで最新の登録内容をご確認ください。

®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●薬剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器、空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。!

※2013年10月7日現在の情報です。